

令和3年6月29日

| 発 言 者            | 発 言 要 旨   |
|------------------|---|
| 菊池（文）委員          | 東京オリンピックの開催まで1か月を切ったが、本県出身選手の活躍や大会開催に対する県の期待はどうか。   |
| スポーツ振興・地域活性化推進課長 | <p>本県からは、現時点でオリンピックに5名、パラリンピックに3名の選手が出場予定であり、これまで培った力を存分に発揮して県民に夢や希望、元気を届けてほしいと考えている。</p> <p>また、大会の開催にあたっては、大会組織委員会や政府等関係機関には、水際対策も含めて感染防止対策をしっかりと講じ、安全安心を最優先に準備を進めてほしいと考えている。</p>  |
| 菊池（文）委員          | 第一弾山形県プレミアム付きクーポン券の追加配付に係る参加店舗の募集を知らなかったとの声が飲食店からあるが、どのように募集の周知を行ったのか。  |
| 商業・県産品振興課長       | 4月26日から5月9日の2週間で募集を行い、約1,900店舗の募集枠に対して約3,000店舗からの応募があった。知事記者会見や新聞広告、県ホームページへの掲載のほか、各地域の商工会議所や商工会を通じて事業者へ案内を送付する等により周知を行ったが、募集期間が短かったこともあり、県に対しても、知らなかったとの意見が事業者から寄せられている。   |
| 菊池（文）委員          | 令和元年の消費税率引上げに伴いキャッシュレス決済の普及が進められたが、コロナ禍にあって、非接触の観点からキャッシュレス化が益々重要と考える。県内におけるキャッシュレス化の状況はどうか。  |
| 中小企業・創業支援課長      | <p>消費税率引上げに伴い、経済産業省はキャッシュレス決済手数料や端末導入への支援、消費者に対するポイント還元事業を行ったが、本県においては9,830店舗が当事業に参加した。人口千人あたり9店舗となり全国で24位、東北で1位であった。現在、県内の小売店・飲食店・宿泊施設の54.2%でキャッシュレス決済が可能な状況となっている。</p> <p>決済方法の導入実績としては、電子マネー読取端末、クレジットカード決済機、QRコード読取りの順となっている。</p> |
| 菊池（文）委員          | 軽減税率については賛否両論あると思うが、県としてはどのように捉えているのか。  |
| 商工産業政策課長         | 消費税の所管は総務部となるが、事業者を支援する立場から見ると、軽減税率の導入にあたっては、事業者において大変な苦労があったと考えている。県としては、国などにおいて様々な議論の結果導入されている制度であるので、当税制が安定的に運用されるように国と一緒に進めていきたい。   |
| 菊池（文）委員          | 今定例会に提案されている観光関連の事業は、これまでの事業とどのような違いがあるのか。  |
| 観光復活戦略           | 県民泊まってお出かけキャンペーンは、これまでに引き続き実施するも  |

| 発 言 者       | 発 言 要 旨   |
|-------------|---|
| 課長          | <p>のであるが、日帰りの旅行商品も多く販売されていることから、マイクロツーリズムや地域の魅力の再発見に繋がるのではないかと考えている。</p> <p>宿泊事業者が行うポストコロナに向けた施設改修等への支援については、今後ワクチン接種が進み、観光需要が徐々に回復してくることが見込まれることから、新たなニーズを取り込むための前向きな投資を支援したいと考えている。</p>   |
| 菊池（文）委員     | <p>施設改修等への支援はどの程度の件数を想定しているのか。また、どのように事業の周知を行うのか。</p>   |
| 観光復活戦略課長    | <p>県内の約790の宿泊施設のうち、県民泊まってお出かけキャンペーンに約5割の施設が参加していることから、当事業についても約5割、395施設の利用を想定している。</p> <p>コールセンターの設置により宿泊施設からの相談に対応するとともに、県ホームページや市町村、関係団体等を通じた周知を行っていききたいと考えている。</p>   |
| 菊池（文）委員     | <p>今年度整備予定の創業支援センター（仮称）のねらいと現在の進捗状況はどうか。</p>  |
| 中小企業・創業支援課長 | <p>起業・創業を目指す方の後押しをするための体制づくりや多様な人材の集結によるオープンイノベーションの場の整備を進めることにより、新たなビジネスが新たな人を呼び込むエコシステムを実現させることをねらいとしている。</p> <p>また、県企業振興公社が中心となり整備を進めているが、先週、設計者のプロポーザル審査会を実施したところであり、今後、事業者が決定して設計が開始される状況となっている。</p>                             |
| 菊池（文）委員     | <p>県では「新結合」という言葉を使用しているが、起業・創業における「新結合」はどのようなイメージなのか。</p>   |
| 中小企業・創業支援課長 | <p>創業支援センター（仮称）ではコワーキングスペースを整備することとしているが、今まで知り得なかった人が一つの場所に集まって仕事することにより、人脈が広がったり、違った仕事同士が結びつき、「新結合」が起きることで、新たな起業に繋がることを期待している。また、山形駅に直結する霞城セントラルの2階に整備することから、首都圏と地元の方が結びつく「新結合」のきっかけになることも期待している。</p>                                |
| 青柳委員        | <p>昨年6月に開設したI o Tイノベーションセンターの概要と利用実績はどうか。</p>   |
| 産学官連携推進主幹   | <p>県内のものづくり企業のI o T分野への参入を促進し、本県製造業の付加価値増大を図るため、電磁波の国際規格へ対応するための電磁波測定室、製品試作の際の不具合等の分析を行う材料分析室、コンピューターシミュレーション等を活用した試作品の動作検証を行うデジタル設計支援室の3施設を同センターとして整備した。</p> <p>利用実績としては、企業の方が自ら設備を利用する施設設備使用サービスと工業技術センターの職員が受託して試験を行う受託試験サービスの</p> |

| 発 言 者      | 発 言 要 旨  |
|------------|--|
|            | 2種類の合計で、昨年度末までで約3,200件の利用があり、当初想定していた年間3,000件を上回る利用実績となっている。   |
| 青柳委員       | 利用している企業数はどの程度あるのか。  |
| 産学官連携推進主幹  | 企業数は集計していない。   |
| 青柳委員       | どの程度の企業が利用しているかという視点も重要と考えるので今後集計してほしい。  |
| 青柳委員       | 一つの試験あたりどの程度の期間を要するのか。   |
| 産学官連携推進主幹  | 例えば、電磁波の測定作業を行う場合は、所定の規格内に収まっていなければ、その場で改良に取りかかり、1週間ほど期間を要することもあるが、分析装置を用いて不具合の検証を行うような場合は、すぐに原因がわかることもあり、案件によって利用期間は様々である。  |
| 青柳委員       | 工業技術センターの職員が受託して試験を行うこともあるとのことだが、職員の業務量はどうか。   |
| 産学官連携推進主幹  | 職員が受託することができる試験は所要時間を推察できるため、事前に想定した職員の業務量の範囲で対応できていると考えている。   |
| 青柳委員       | IoTイノベーションセンターの採算は取れているのか。   |
| 産学官連携推進主幹  | 工業技術センター全体の状況となるが、利用にあたっては設備使用料と受託手数料を徴収しており、現在のところ、設備の保守や消耗品の購入等の経費は賄えている。  |
| 青柳委員       | 有機ELに係る研究や事業化の進捗状況はどうか。また、県の支援額はどうか。   |
| 工業戦略技術振興課長 | <p>照明分野とディスプレイ分野で事業化に向けた取組みが進められており、照明分野ではルミオテック株式会社が照明パネルの量産化に取り組むとともに、県内企業がそのパネルを活用した照明製品の開発等に取り組んでいる。また、ディスプレイ分野では米沢市の株式会社ブイ・イー・ティーがスマートフォンの有機ELディスプレイの部品製造に向けた取組みを進めている。</p> <p>県としては、県産業技術振興機構と連携し、有機ELの事業化に向けた実証施設を米沢市に設置・運営するとともに、製品開発に向けた県内企業と照明パネルのマッチングや開発補助を行ってきた。これまでの累計で82億3千万円の支援を行ったほか、今年度は実証施設の運営や製品開発の支援として約8千万円の予算を計上している。</p> |
| 青柳委員       | LED照明も普及している中、上手く需要を確保できるのか。   |
| 工業戦略技術     | まずは、現在計画されている有機EL照明を使用した学習スタンドの中   |

| 発 言 者        | 発 言 要 旨   |
|--------------|---|
| 振興課長         | 国市場への投入により需要を掘り起こすとともに、発光効率や製造技術の向上及びコストの低減に向けた研究開発を進め、市場での競争力を高められるよう県としても支援していきたい。  |
| 青柳委員         | 昨年 は 新 型 コ ロ ナ の 影 響 に よ り 厳 し い 環 境 で あ っ た と 思 う が、昨 年 開 館 し た 山 形 県 総 合 文 化 芸 術 館 の 利 用 状 況 は ど う か。   |
| 県民文化館活用推進室長  | 大ホール の 貸 館 営 業 は、新 型 コ ロ ナ の 影 響 に よ り、令 和 2 年 5 月 18 日 か ら 開 始 し、2,001 人 の 定 員 に 対 し て、5 月 中 は 50 人、6 月 18 日 ま で は 100 人 と 制 限 し た。そ の 後、9 月 19 日 か ら は 大 声 を 出 さ な い も の に つ い て は 2,001 人 の 定 員 ま で 利 用 を 認 め て 貸 出 し を 行 っ た。2 年 6 月 か ら 3 年 3 月 の 各 月 の 稼 働 率 は 平 均 で 約 60% と な っ て お り、コ ロ ナ 禍 の 中 に あ っ て は、多 くの 方 に 利 用 さ れ た と 考 え て い る。  |
| 青柳委員         | 近 隣 に は 山 形 美 術 館 や 県 立 博 物 館、文 翔 館 等 の 文 化 施 設 が 多 数 あ る こ と か ら、各 施 設 と 連 携 し、周 遊 で き る よ う な イ ベ ン ト を 企 画 し て は ど う か。  |
| 県民文化館活用推進室長  | 総 合 文 化 芸 術 館 の 指 定 管 理 者 に お い て、や ま が た 文 化 の 回 廊 フ ェ ス テ ィ バ ル と し て、周 辺 の 美 術 館 や 博 物 館 等 と の 連 携 の も と、街 を 巡 り な が ら 文 化 芸 術 に 触 れ て も ら う イ ベ ン ト を 今 年 3 月 に 実 施 し て お り、今 年 度 も 同 様 の 事 業 を 計 画 し て い る。  |
| 青柳委員         | 公 益 財 団 法 人 山 形 県 埋 蔵 文 化 財 セ ン タ ー の 運 営 状 況 は ど う か。  |
| 文化振興・文化財活用課長 | <p>国 や 県 の 公 共 工 事 に 伴 う 発 掘 調 査 を 主 な 事 業 と し て お り、調 査 に 伴 う 委 託 料 で 運 営 費 を 賄 っ て い る が、こ れ ま で 多 か っ た 高 速 道 路 の 整 備 に 伴 う 調 査 が 近 年 減 少 し て お り、当 セ ン タ ー の 経 営 状 況 は 厳 し く な っ て い る。</p> <p>今 年 度 か ら、こ れ ま で 県 直 営 で 行 っ て い た 埋 蔵 文 化 財 の 普 及 啓 発 事 業 を 当 セ ン タ ー に 委 託 す る な ど、存 続 に 向 け た 支 援 を 行 っ て い る が、今 後 も こ う し た 状 況 が 継 続 す る と 想 定 さ れ る た め、当 セ ン タ ー と 意 見 交 換 し な が ら 運 営 方 法 を 検 討 し て い き た い。</p> |